

予防接種を受ける方(抗体検査結果が陰性の方のみ)へ (フローの結果②③④に該当した方)

1 ページ目のフローで「検査結果は陰性 ※2」というのは、下記の表を満たす方になります。また、この度抗体検査を受け、予防接種が必要になる方の指標も同様です。

検査方法	抗体価(陰性)
HI法	8倍以下
EIA(IgG)法	6.0未満(EIA価)
	15未満(国際単位(IU)/ml)

上記の検査以外の場合はお問い合わせください。

1. 風しんと予防接種の効果について

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、飛沫(唾液のしぶき)感染で人から人へ感染します。感染すると約2～3週間後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。成人がかかると発熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。まれに、脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が発生することもあります。

また、妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、目や心臓、耳等に障害を持つ(先天性風しん症候群)子どもが出生することがあります。

風しんの予防には予防接種が最も有効であり、1回の予防接種で95%以上の人が免疫を獲得することができます。

2. 接種を受けることのできない人

- ① 接種当日、明らかに発熱している人(37.5℃以上)
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人
- ③ ワクチンに含まれる成分によって、
アナフィラキシーショック※を起こしたことがある人
- ④ その他、医師が接種不適切な状態と判断した場合

※アナフィラキシーショック

予防接種後30分以内に起こる重いアレルギー反応で全身のじんま疹、吐き気、嘔吐、息苦しさ、血圧低下を起こすような激しい全身反応です。

3. 予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなければならない人

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する人
- ② 予防接種後2日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
- ③ 過去に免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ④ 6か月以内に輸血、ガンマグロブリンの投与を受けた人

裏面もお読みください

4. 風しん予防接種の副反応

主な副反応は発熱と発疹です。発熱や発疹は接種後13日以内（特に7～10日）に多くみられます。接種直後から数日中に過敏症状として考えられる発熱、発疹、そう痒等がみられることがあります。これらの症状は1～3日で治癒します。頻度はまれですが、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの副反応が生じる可能性もあります。

なお、予防接種と同時に、他の病気が重なり症状が出現することもあります。

5. 予防接種を受けた後の注意事項

- ① 接種直後の30分は、急な副反応が起こることがあるため、医師と連絡が取れるようにしましょう。
- ② 接種した部位が痛みや熱をもって、ひどく腫れたり、全身のじんま疹、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら速やかに医師の診察を受けてください。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないようにしましょう。
- ④ 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤ 接種後、他の注射生ワクチンの予防接種を受ける場合は、27日以上あけてください。

6. 予防接種健康被害救済制度

ワクチンの種類によっては、極めてまれに脳炎や神経障害などの重い副反応が生ずることがあります。このような場合で、厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期予防接種による健康被害と認定した場合には、健康被害救済の給付の対象となります。

- ◆この通知は、令和3年2月28日現在の住民基本台帳を元に作成しています。
- ◆検査日や接種日当日に「八潮市に住民票のない方」「期間外に実施した方」は、全額自己負担となります。
- ◆検査や予防接種を受ける前に転出される場合は、転出先の市区町村にお問い合わせください。
- ◆令和元年度及び2年度発行のクーポン券により、すでに抗体検査及び予防接種を受けた方は、今回お送りしたクーポン券は使用できません。
- ◆その他、何かご不明な点があれば、下記までお問い合わせください。

八潮市立保健センター

〒340-0815 八潮市八潮八丁目10番地1 電話 048(995)3381